

観測所	氾濫注意水位	<u>避難判断水位</u>	氾濫危険水位
中津川 山岸	2. 2メートル	2. 4メートル	2. 7メートル
米内川 大豆門	1. 1メートル	1. 2メートル	1. 6メートル

米内川は、令和7年5月27日に水位周知河川に指定されました。

※その場では雨が降っていなくても急に増水することがあります。自分のいる場所が晴れていても、河川の上流で大雨が降ると、下流で急に増水することがあります。わずか10分で河川の水位が1m30cmも上昇し、多くの方が亡くなられた事例もあります。上流の空に黒い雲が見えるなど少しでも異変を感じたら安全確保に努めましょう。

※サイレンの音にも注意しましょう。上流にダムのある川では大雨時には一時的に放流量が増えることがあります、このときに放流を予告するサイレン音が流れます。サイレンを聞いた場合は河川には絶対に近づかないようにしましょう。

5. 近所の高齢者等の要支援者の避難について

お年寄りや子ども、病気の人などは早めの避難が必要です。近所に呼びかけてお年寄りや子ども、病気の人などの避難に協力しましょう。避難するときは動きやすい格好で、2人以上での行動を心がけましょう。

水害対策マップ（要支援者と支援者）を該当者に配布し避難時に利用します。

下米内ホームページによる周知

役員の緊急連絡網による周知

個別訪問等の周知

6. 避難時の注意事項

自動車が水に浸かると動かなくなったり、水圧で扉が開かなくなったりしてたいへん危険です。自動車での避難は特別の場合を除いてやめましょう。

荷物を多く持ちすぎていると行動力が鈍り、逃げられなくなってしまう。必要最低限の物だけを持ち出し、機敏に行動できるように避難しましょう。

単独で避難することは非常に危険です。川に流されたとき、怪我をしたとき、助けがやってくるまでに長い時間がかかり、命に関わる惨事を招きます。避難する場合は複数で行動しましょう。

7. 避難所の準備と運用

準備について

災害時等において避難所を開設する必要がある場合、山岸和敬荘へ連絡し役員を派遣するとともに、下米内ホームページ、役員の緊急連絡網等で避難所開設を発表します。

避難所の運営に際し、必要な物資を用意します。